

■ 調査レポート

本公社アンケートによる県内経済動向

【調査の概要】

平成21年8月10日 時点調査（郵送法）
調査対象 県内1,000社
回答企業424社（回答率42.4%）

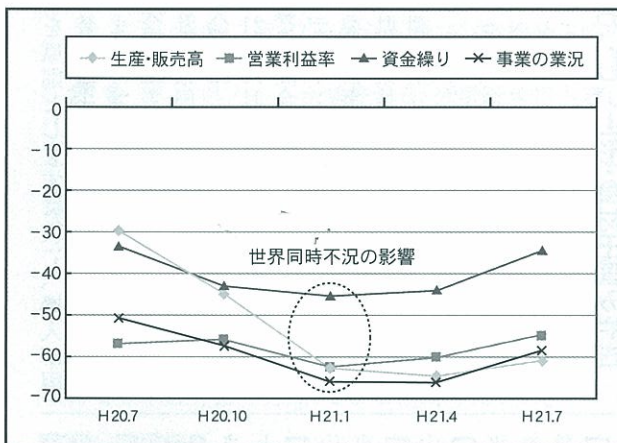
～ 期待感高まる今後の業況見通し ～

【全産業D I 値】（表1・表2）

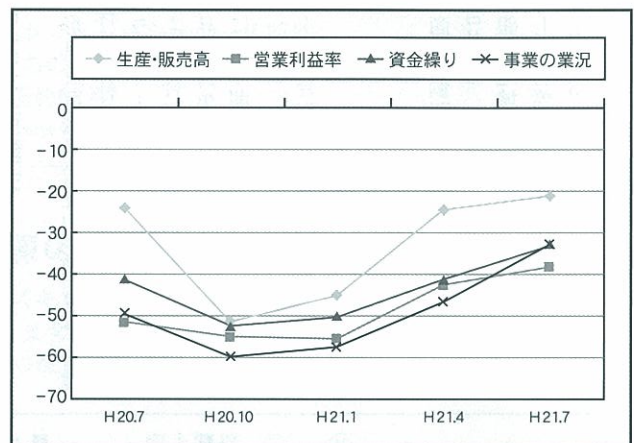
山形県全体のD I 値（※）の前年同月比推移は、平成21年1月調査においては、世界同時不況の影響を受け、資金繰り状況を除く生産販売高・営業利益・事業業況で前回調査（平成20年10月）に比べ大幅な落ち込みとなったが、今回調査ではそれらに比べると回復傾向が伺われる。

また、3ヶ月先見通しD I 値をみても今回調査では先行きの見通しに改善傾向が見られ、期待感が高まっている。しかし、D I 値そのものは未だマイナス値のため、引き続き厳しい状況にある雇用情勢や設備投資状況の推移を見守る必要がある。

【表1—県計前年同月比D I 値の推移】



【表2—県計3ヶ月先見通しD I 値の推移】

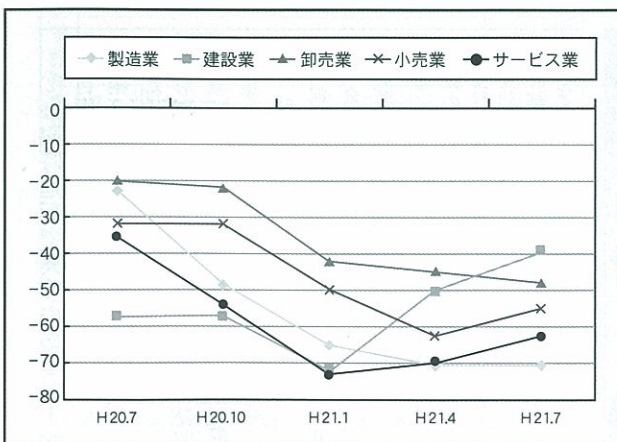


【産業別D I 値】（表3・表4）

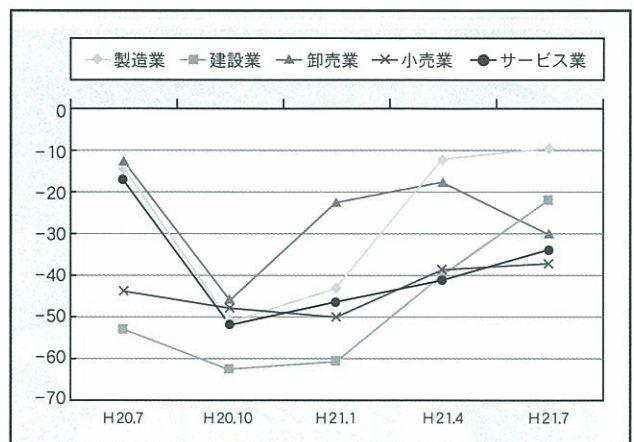
前年同月比D I 値を業種別生産・販売高の推移で見ると、今回調査では前々回調査（平成21年1月調査）での大幅な下落ポイントからの下げ止まり傾向が見られ、建設業、小売業、サービス業などが回復傾向にある。しかし、本県の基幹産業である製造業は平成20年10月調査からの悪化傾向が底を打った程度にとどまっており、前年比D I 値は▲70.4ポイントと未だ大幅なマイナスポイントとなっている。

3ヶ月見通しD I 値については、製造業、卸売業、サービス業が大幅な落ち込みとなった平成20年10月の厳しい見方から徐々に明るい方向へと変化してきている。特に製造業や建設業、サービス業で楽観的な見通しを示している。

【表3—業種別前年同月比（生産・販売高）D I 値の推移】



【表4—業種別3ヶ月先見通し（生産・販売高）D I 値の推移】



（※）D I 値：「増加」とした企業の割合から「減少」とした割合を差し引いた指数